



平成17年7月25日

各 位

会 社 名 株式会社近鉄百貨店
代表者名 取締役社長 中川 文雄
(コード番号8244 大証第一部)

京都店閉店に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、京都店の閉店を決議いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

記

1. 閉店の理由

当社京都店は、大正9年1月に京都物産館として開業して以来、85年余にわたり京都の玄関口であるJR京都駅前の老舗百貨店として営業を続けてまいりました。

しかしながら、長引く消費の低迷や競合店の出店もあって、売上高は平成8年をピークに減少が続いております。このため、平成12年3月には大型専門店を導入し複合商業施設「プラッツ近鉄」へ思い切った業態転換を行い、さらに、平成13年2月には旧株式会社近鉄百貨店との合併により、営業力の一層の強化をはじめとする店舗運営全般の効率化を図るとともに種々の改装プランを検討するなど、店再生に向け鋭意諸施策を講じてまいりましたが、商業環境が大きく変化する中、抜本的な業績改善が見込めない状況にあります。

当社は、目下平成16年度を初年度とする中期経営3ヵ年計画に基づき、事業の選択と集中の観点から、通信販売事業からの撤退、モーターレン千葉および近鉄モーターズの株式譲渡等の経営構造改革を強力に推進しており、今後当社収益体質の一層の強化を図るため、京都店の閉店を決定したものであります。

2. 京都店の概要

- | | |
|---------|--|
| (1) 所在地 | 京都市下京区烏丸通七条下る東塩小路町702番地 |
| (2) 建物 | 鉄骨鉄筋コンクリート・鉄骨造
地下3階地上8階建、延床面積65,992.23㎡ |

- (3) 店舗面積 38,700 m²
(4) 年間売上高 25,494 百万円 (平成16年度)
(5) 従業員数 社員153名
(内訳) 男性85名
女性68名
契約社員2名
パートタイマー6名

3. 閉店日 平成19年2月28日(予定)

4. 今後の見通し

平成18年2月期の当社業績に与える影響は軽微であります。

(以上)

本資料配布先: 大阪証券記者クラブ、大阪商工記者会、京都経済記者クラブ、
近畿電鉄記者クラブ、青灯クラブ
なお、近畿日本鉄道株式会社が東海交通研究会に本資料を参考配布して
おります。